

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

研究課題名 婦人科腫瘍における CGP 検査の診療実績と遺伝性腫瘍への対応
1. 研究の対象および研究対象期間 2020年12月から2025年10月に昭和医科大学病院においてCGP検査(がん遺伝子パネル検査)を提出した婦人科腫瘍があった患者さんを対象とします。
2. 研究目的・方法 (1) 研究の目的 がんゲノム医療の進展により、分子プロファイルに基づく治療選択が重要となっている。CGP検査は標準治療終了後に実施するため、選択できる薬剤の少なさや全身状態の悪化のため、検査後の治療薬への到達率が低いことが問題になっている。そこで当院における婦人科腫瘍のCGP検査の現状を解析することで、どのような症例に対して有効な検査なのかを明らかにして、将来の治療選択に役立てることを目的とします。 (2) 研究の方法 <ul style="list-style-type: none">日常診療の中で記録されている診療情報（カルテ、検査結果など）を研究用に利用します。新たに検査や治療を追加で行うことはありません。患者さんごとに氏名などを削除し、研究用IDを付けたうえで解析を行います。
3. 研究期間 昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2027年3月31日まで
4. 研究に用いる試料・情報の種類 本研究では、以下のような診療情報を利用します。 <ul style="list-style-type: none">年齢、PS(全身状態)、がんの種類CGP検査の種類、検査のタイミング病的バリエーションの種類、PGPV(生殖細胞系列を疑う病的バリエーション)の種類推奨薬の提案率、治療到達率、治療内容、治療未到達の理由、治療後経過PGPVへの対応 なお、氏名、住所、電話番号など、患者さん個人を直接特定できる情報は研究用データから削除します。

5. 外部への試料・情報の提供

本研究は昭和医科大学内での研究であり、外部への試料および情報の提供はありません。

6. 研究組織

研究責任者 昭和医科大学医学部産婦人科学教室 氏名：長島稔

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学 医学部産婦人学講座

氏名：長島 稔

住所：142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8

電話番号：03-3784-8551